

認定看護師の知識と技術

認定看護師とは

1. 認定看護師とは

本会認定看護師認定審査に合格し、ある特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を用いて、水準の高い看護実践のできる者をいう。

2. 認定看護師の役割

看護現場において実践・指導・相談の3つの役割を果たすことにより、看護ケアの広がりと質の向上を図ることに貢献する。

実践	特定の看護分野において個人、家族及び集団に対して、熟練した看護技術を用いて水準の高い看護を実践する。
指導	特定の看護分野において、看護実践を通して看護職に対し指導を行う。
相談	特定の看護分野において、看護職に対しコンサルテーションを行う。

3. 知識と技術（全 21 認定看護分野中、埼玉県内で認定看護師が活動している 21 分野） （平成 25 年 6 月現在）

分野一覧

	分野名	知識と技術（一部）
1	皮膚・排泄ケア	<ul style="list-style-type: none"> 褥瘡などの創傷管理およびストーマ、失禁等の排泄管理 患者・家族の自己管理およびセルフケア支援
2	緩和ケア	<ul style="list-style-type: none"> 疼痛、呼吸困難、全身倦怠感、浮腫などの苦痛症状の緩和 患者・家族への喪失と悲嘆のケア
3	がん性疼痛看護	<ul style="list-style-type: none"> 痛みの総合的な評価と個別的ケア 薬剤の適切な使用および疼痛緩和
4	訪問看護	<ul style="list-style-type: none"> 在宅療養者の主体性を尊重したセルフケア支援およびケースマネジメント 看護技術の提供と管理
5	感染管理	<ul style="list-style-type: none"> 医療関連感染サーベイランスの実践 各施設の状況の評価と感染予防・管理システムの構築
6	糖尿病看護	<ul style="list-style-type: none"> 血糖パターンマネジメント、フットケア等の疾病管理および療養生活支援
7	摂食・嚥下障害看護	<ul style="list-style-type: none"> 摂食・嚥下機能の評価および誤嚥性肺炎、窒息、栄養低下、脱水の予防 適切かつ安全な摂食・嚥下訓練の選択および実施

8	認知症看護	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症の各期に応じた療養環境の調整およびケア体制の構築 ・行動心理症状の緩和・予防
9	脳卒中リハビリテーション看護	<ul style="list-style-type: none"> ・脳卒中患者の重篤化を予防するためのモニタリングとケア ・活動性維持・促進のための早期リハビリテーション ・急性期・回復期・維持期における生活再構築のための機能回復支援
10	慢性呼吸器疾患看護	<ul style="list-style-type: none"> ・安定期、増悪期、終末期の各病期に応じた呼吸器機能の評価及び呼吸管理 ・呼吸機能維持・向上のための呼吸リハビリテーションの実施 ・急性増悪予防のためのセルフケア支援
11	慢性心不全看護	<ul style="list-style-type: none"> ・安定期、増悪期、終末期の各病期に応じた生活調整及びセルフケア支援 ・心不全増悪因子の評価およびモニタリング

日本看護協会資料より抜粋